



ネクストグループ
CSR報告書2010

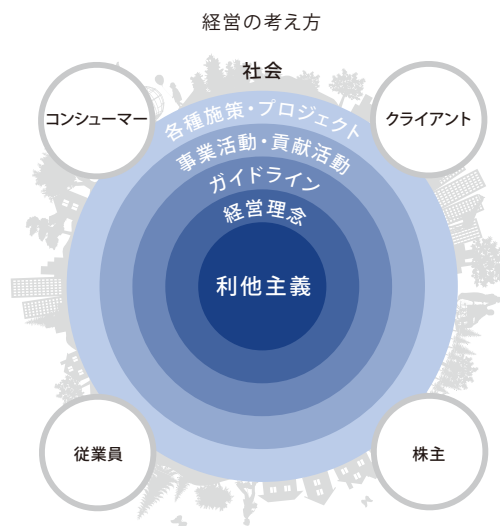


NEXT Co., Ltd.
— Enter the NEXT stage —

ネクストのCSR(企業の社会的責任)の考え方

私たちネクストは、経営理念として掲げる、『常に革進することで、より多くの人々が心からの「安心」と「喜び」を得られる社会の仕組みを創る』の実現を目指し、「心と行動のガイドライン」と「組織のガイドライン」を行動規範に、誠実で公正な企業活動を行っております。この理念は、私たちにとって普遍であり、変わることはないものです。私たちネクストは、この経営理念に基づいた企業活動を通じ、より多くの人々を笑顔に、そして幸せにしたいという「利他主義」を貫き、「不安」や「不満」、「不便」といった、世の中の多くの「不」を解消することで、社会の健全な発展に寄与し続けてまいります。私たちネクストのCSR(企業の社会的責任)とは、経営理念の実現に向けて日々の企業活動を行うことで、以下の取組が実践され、それにより地球全体が幸せであるために貢献していくことだと考えております。

- すべてのステークホルダーとの信頼関係の構築
- 人財の尊重
- 優れたサービスの提供
- コンプライアンスの徹底
- 最適なコーポレート・ガバナンス体制の構築
- 積極的かつ適切な情報開示
- 社会・環境問題の解消に向けた取組



社 是

利他主義

経営理念

常に革進することで、より多くの人々が心からの「安心」と「喜び」を得られる社会の仕組みを創る

ガイドライン

心と行動のガイドライン

- ▶人生・仕事の結果＝考え方 × 熱意 × 能力
- ▶高い目標を掲げ、現在の自分と比較・逆算し、達成への明確なルートを描く
- ▶高い目標の達成は、確実な一步一步の積み重ねの結果である
- ▶一点の曇りもない正しさに基づき行動する
- ▶パーフェクトを目指し、ベストを尽くす
- ▶自ら動く、自ら変える
- ▶スピードは力なり
- ▶常にプラス思考

組織のガイドライン

- ▶私たちは、信頼＝TRUST を構築する
- ▶私たちは、ゆるぎない事実に基づいた経営を一人ひとりが実践する
- ▶私たちは、コンシューマー、クライアント、従業員、株主、社会を重んじる
- ▶私たちは、社会的価値を生み出した結果として、公明正大に利益を追求する
- ▶私たちは、活性化した組織を永続させるため、情報をオープンにし、率直で建設的なコミュニケーションを図る
- ▶私たちは、一人ひとりがプロとして、真のチームワークを作り上げる

ネクストグループ CSR 報告書 2010

トップメッセージ	04
ネクストの事業	05
特集	08
日本一働きたい会社の実現に向けて	08
CSR マネジメント	10
コーポレート・ガバナンス	10
リスクマネジメント／情報セキュリティ	12
コンプライアンスの徹底	13
ステークホルダーへの取組	14
コンシューマーの皆様とのかかわり	14
クライアントの皆様とのかかわり	16
従業員の皆様とのかかわり	17
株主・投資家の皆様とのかかわり	22
社会の皆様とのかかわり	24
会社概要	26
会社概要	26
連結業績 / 2010 年度活動データ	27

編集方針

本報告書は、ネクストグループの経営理念『常に革進することで、より多くの人々が心からの「安心」と「喜び」を得られる社会の仕組みを創る』の実現と持続可能な社会の実現に向けた活動を、わかりやすく開示することを目的に2009年度から発行しています。

レポートの記載に関する補足

「従業員」という表記は、取締役、管理職、一般社員、パートなどを含めた、ネクストで働くすべての人を指します。「社員」という記載は、正社員を指します。また、報告内容の正確さを期すために正社員と非正社員（臨時従業員、パートなど）という記載を必要な箇所に使用しています。

対象範囲

株式会社ネクスト及び連結子会社

対象期間

2010年度（原則として2010年4月1日～2011年3月31日）

なお、一部2011年度の活動内容も含んでいます

参考にしたガイドライン

GRI (Global Reporting Initiative)「サステナビリティ レポーティング ガイドライン 第3版」を参考に作成しました。

人々が幸せになる 社会を創る

はじめに、東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

私たちは、経営理念の実現に向けて事業を推進することが企業の社会的責任(CSR)と考えています。そのために、私たちの想いをステークホルダーの皆様に発信し続け、ご理解いただくことにより、ステークホルダーの皆様との信頼関係を築き、社会的責任を果たすため、邁進していきます。

事業活動を通じた経営理念の実現こそ 私たちが考えるCSR

私たちの活動の根底には社是である「利他主義」、すなわち他人の利になることを行うという考え方があります。この考え方を核として私たちが提供したい価値を表現したのが『常に革進することで、より多くの人々が心からの「安心」と「喜び」を得られる社会の仕組みを創る』という経営理念です。これは、たとえ100年かかってもやり遂げたい想いであり、社会への宣言です。

私たちが考えるCSRとは、事業活動を通じ経営理念を実現することであり、コンシューマー、クライアント、従業員、株主、社会、すべてのステークホルダーの皆様との間に、強い信頼関係を築きながら、さらなる社会的価値創造に邁進してまいります。

経営理念の実現に向けた数々の取組

設立以来、私たちは、より多くの人々に「安心」と「喜び」を提供するため、暮らしにまつわる「不」の解消に努めています。これまで「住まい情報」「地域情報」の提供を中心に事業を展開してまいりました。

2010年度は、「住まい情報」において、「より多く」、「より精度が高い」、「より充実した」不動産情報の提供に注力し、誰もが理想の住まい探しができるように、量と質を向上させる取組を強化してまいりました。また、「地域情報」においては、地域を活性化させるための取組を推進してまいりました。さらに「金融情報」「医療情報」の提供を開始し、新たな「不」の解消に向けて、動き出しました。

私たちが革進を起こし続けるためには、従業員一人ひとりの成長とモチベーションの向上が不可欠と考えます。そのため「日本一働きたい会社」を目指し、理念と価値観の共有、挑戦と成長の機会の提供、組織の活性化、多様なワークスタイルの支援といった観点から、あらゆる施策を実行しています。第三者機関※による、「2011年働きがいのある会社ランキング」では第16位となり、従業員向け施策の数々が評価されたものと考えています。

また、事業活動の安定的な継続という観点からリスクマネジメントを重要課題と考えており、その一環として、ISMS認証取得の拡大、定期的なセキュリティチェックやWebテストの実施等、情報セキュリティに積極的に取組んでおります。

私たちは、「利他主義」をすべての活動の根底とし、より多くの人々を「安心」と「喜び」で満たす社会を実現するために、全力で邁進してまいります。ステークホルダーの皆様には、引き続きご支援・ご指導を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

井上高志

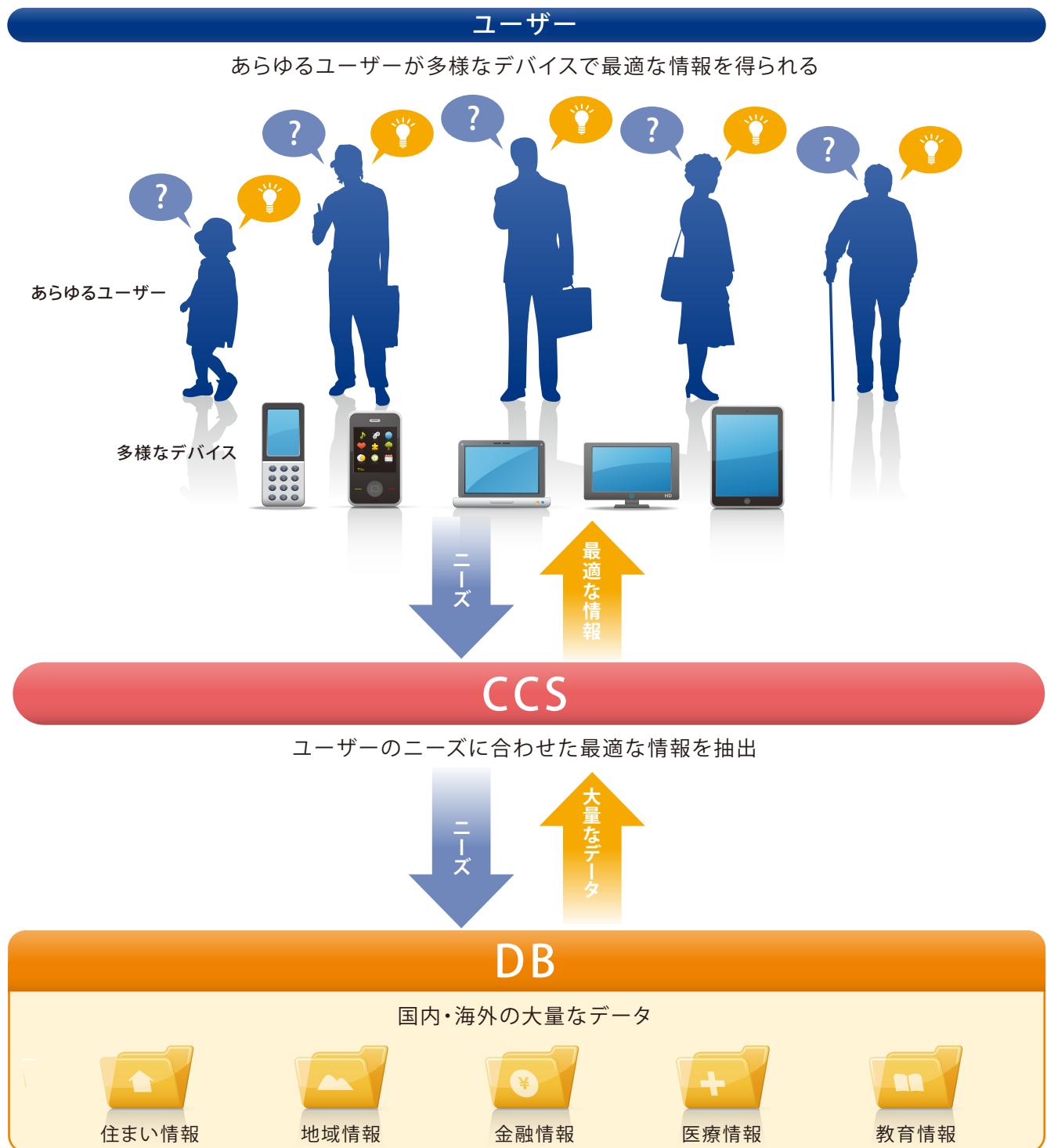
※「働きがい」について調査・分析を行い、一定水準に達していると認められる企業を世界40カ国以上で発表している専門機関Great Place to Work®(2010年度は151社が参加。)

「DB+CCS*で Global Companyを目指す」を スローガンに掲げ、事業を展開しています。

ネクストグループは、インターネット上での「人と情報のベストマッチング」を実現することで、世の中の「不」の解消を目指しています。 *DB:データベース CCS:コミュニケーション&コンシェルジュサービス

「DB+CCS」とは、国内外を問わず、暮らしに密着した幅広い情報をカバーする精度の高いデータベースを構築し、あらゆるユーザーに最適な情報を、多様なデバイスを通じて提供するサービスのことです。

「DB+CCS」イメージ図



経営理念『常に革進することで、より多くの人々が心からの「安心」と「喜び」を得られる社会の仕組みを創る』を実現するため、現在4つの分野において、インターネット上で暮らしに密着した情報提供を行う事業を展開しています。



住まい情報

住宅・不動産情報ポータルサイト『HOME'S』を通じて、住まい情報を提供しています。全国約291万件(2011年3月度平均)の賃貸物件、売買物件(新築マンション・中古マンション・新築一戸建て・中古

一戸建て・土地)、投資用物件、注文住宅、住宅リフォーム、高齢者用賃貸・老人ホームから、ユーザーが最適な物件を簡単に検索できるサイトを運営し、住まい情報における「不」の解消を目指しています。

●賃貸・不動産売買
掲載物件数 …… 291万件
加盟店数 …… 9,564店舗

●新築分譲マンション
掲載棟数 …… 1,474棟

●新築分譲戸建て
掲載物件数 …… 3,270件

●注文住宅・リフォーム
利用店舗数 …… 590店舗

2011年3月末時点(掲載物件数・棟数は月平均)



地域情報

みんなでつくる街の情報サイト「Lococom」を通じて、地域情報を提供しています。ジオ×ソーシャル×リアルタイムという要素を採り入れ、「街」を軸に人と人、お店と人が相互にコミュニ

ケーションを取りながら、街全体、地域を活性化させるサイトを運営し、地域情報における「不」の解消を目指しています。

●個人会員数 …… 73万人
●月間ページビュー数 …… 1,971万PV

●月間セッション数 …… 671万セッション

2011年3月末時点



金融情報

暮らしとお金のポータルサイト「MONEYMO」を通じて、金融情報を提供しています。生命保険の見直し相談や住宅ローンの借換え申込み、火災保険・自

動車保険の一括見積もり、家計簿機能等、生活にかかわるお金を見直すサイトを運営し、金融情報における「不」の解消を目指しています。



医療情報

アトピー有症者向けのケータイサイト「eQOLスキンケア」を通じて、医療情報を提供しています。キャラクターと一緒に掻破行動*の記録や、共通の悩み

を持つユーザー同士が交流できるコンテンツ、スキンケアサンプル等を応募できるサイトを運営し、医療情報における「不」の解消を目指しています。

*掻破(そうは)行動とは、医学的に治療の現場で使われる言葉で、単にかゆいから掻く(こする・たたく・むしる)というだけでなく、生活の中で習慣化して癖のように掻いていることを1つの行動としてとらえる概念のことです。

「日本一働きたい会社」を目指して



私たちは、従業員やこれから入社してくる学生・社会人の皆様からも「ネクストで働きたい」と感じてもらえる「日本一働きたい会社」を目指し、様々な施策を実施しています。

人事部 人事ユニット長 羽田 幸広

■ 私たちの目指す「働きたい会社」とは

働きやすい会社 ≠ 働きたい会社 = 働きがいのある会社

「働きたい会社」は決して楽で「働きやすい会社」というわけではなく、経営理念と従業員のキャリアビジョンを実現させるために、挑戦と成長の機会

を提供し、生き活きと働く従業員が集う「働きがいのある会社」だと考えます。

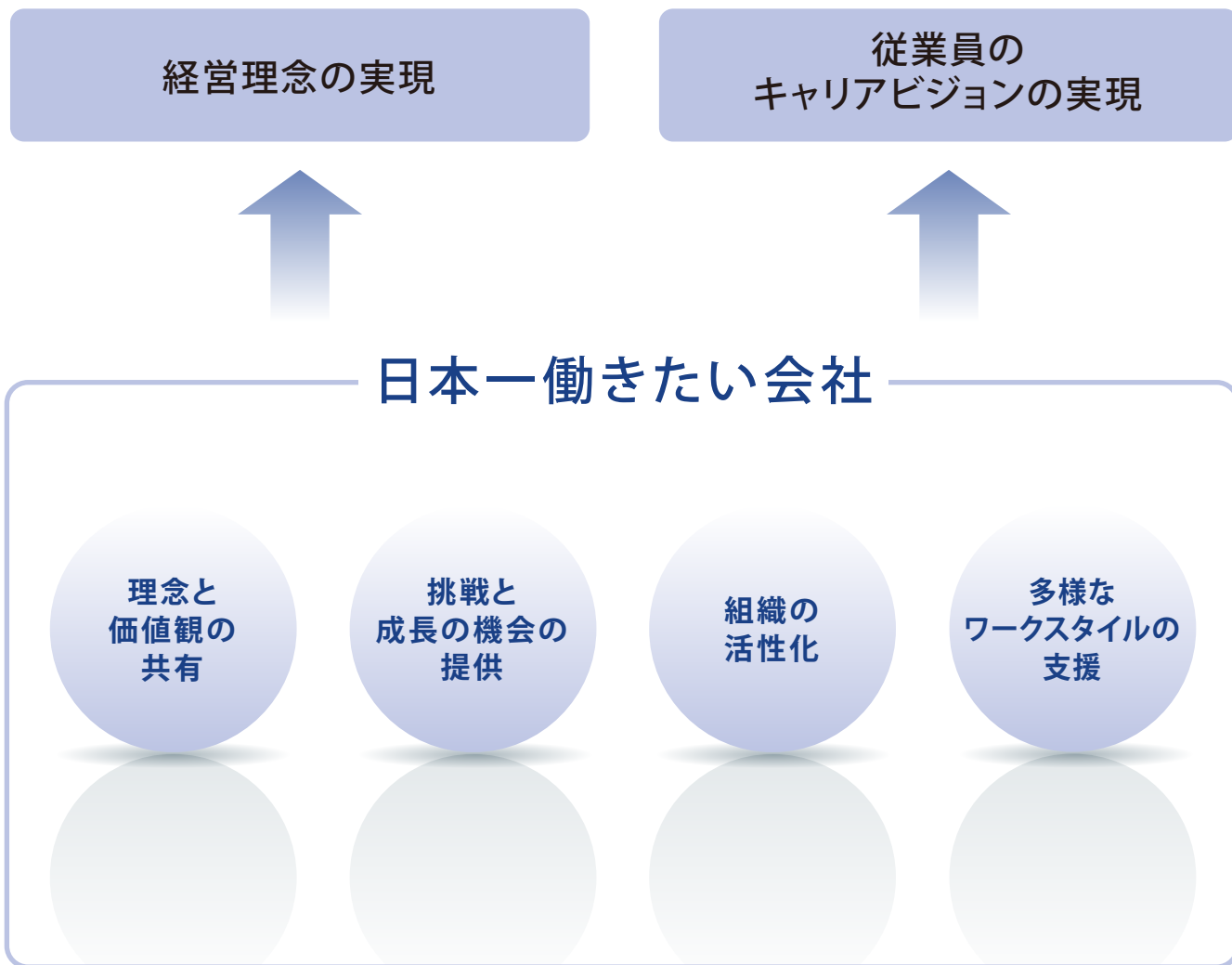
■ 「日本一働きたい会社」に向けた活動のあゆみ

「日本一働きたい会社」の実現に向けて「理念と価値観の共有」「挑戦と成長の機会の提供」「組織の活性化」「多様なワークスタイルの支援」の考え方のもと、様々な施策を実施しています。

2008年1月に「日本一働きたい会社」プロジェクトを立ち上げ、9つのワーキンググループ(WG)による活動を開始し、その後、同年7月に4つのWGに統合しました。この4つのWGからの提案により、

2009年にはキャリア支援室の開設やネクスト大学の開校、2010年には新人事制度の導入やキャリア選択制度を開始しました。そして、2011年にこれまでの取組が評価され、第三者機関であるGreat Place to Work®の「働きがいのある会社」のランキングで151社の中から16位という評価を得ることができました。





■「日本一働きたい会社」と言えるとき

私たちが「日本一働きたい会社」になったかどうかの一つの指標として、Great Place to Work®の「働きがいのある会社」の順位や社員モチベーション調査*の得点を参考にしています。

私たちは、理念と価値観に共感できる人材を採用することに力を入れています。入社後はビジョンブックやビジョンカードを配布し、定期的に研修を行い、理念と価値観の浸透に取り組んでいます。また、従業員一人ひとりがキャリアビジョンの実現に向けて成長していくために、ネクスト大学、新規事業提案制度やキャリア選択制度等を設け、常に挑戦し続け、自発的に成長できる機会を創り出しています。

そして、表彰制度や組織の枠を超えたコミュニケーションの場を提供することで、常に組織が活性化するように取り組んでいます。また、従業員が生き生きと働ける職場づくりに向けて、充実した休暇制度や子育てをしながら働く社員のキャリアビジョン実現を支援するワーキングマザー・ファザー制度等、多様なワークスタイルを支援しています。

これらの取組が、外部評価で認められ、第1位となったとき、そして、社員モチベーション調査で満点になったとき「日本一働きたい会社」に近づいたのではないかと考えます。

私たちはこれからも「日本一働きたい会社」の実現に向けて、全力で走り続けます。

*「社員モチベーション調査」とは、社員のモチベーション状態を調査し、どんな要素がモチベーションを高め、どんな要素がモチベーションを低めるのかを明らかにする調査。株式会社リンクアンドモチベーションが提供

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンス基本方針

コンシューマー、クライアント、従業員、株主、社会、すべてのステークホルダーの皆様から信頼される企業であり続けるため、企業価値の最大化に努めるとともに、意思決定の迅速化、業務執行の妥当性、効率性、透明性の向上を目指し、コーポレート・ガバナンスの強化に努めていきます。

経営上の意思決定、執行及び監督にかかわる経営管理組織について

経営上の意思決定、執行及び監督にかかわる経営管理組織は、取締役会、経営会議、本部長会の3つで構成されています。

取締役会は、常勤取締役4名と、社外取締役1名で構成され、毎月開催しています。意思決定の迅速化、業務執行の妥当性、効率性、透明性の向上を図った体制を構築し、経営の基本方針・重要事項の決定を行っております。また、執行役員制度を採用し、執行役員の業務執行についても監督しています。

また、常勤取締役及び執行役員で構成される経営会議を毎月開催し、取締役会において意思決定を要する事項の事前審議等を行っております。その他、常勤取締役、執行役員及びその他の管理職で構成される本部長会を毎月開催し、各事業部から月次報告等がなされ、業績管理の機能を果たしております。

監査体制について

監査役は、常勤監査役2名と、非常勤監査役1名で構成され、全てが東京証券取引所の定める独立役員です。監査役は、毎月開催される取締役会に出席、常勤監査役においては経営会議や本部長会にも出席し、取締役の職務執行を全般にわたって監視しています。

また、毎月監査役会を開催し、取締役会付議議案の内容や会社の運営状況等について意見交換を行い、監査方針をはじめ監査計画等、監査に関する重要事項の協議及び決定を行っております。

内部統制について

ネクストでは、社是及び経営理念のもと、コーポレート・ガバナンス体制及びコンプライアンス体制を整備・構築し運用していくことが経営の重要な責務であることを認識し、以下の「内部統制システム構築の基本方針」を定め、業務の適正を確保するための体制を整備・構築します。

1. 取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
2. 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
4. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
5. 当社及び子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
6. 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項
7. 前号の使用人の取締役からの独立性に関する事項
8. 取締役及び使用人が監査役に報告をするための体制その他の監査役への報告に関する体制
9. その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

反社会的勢力排除に向けた取組について

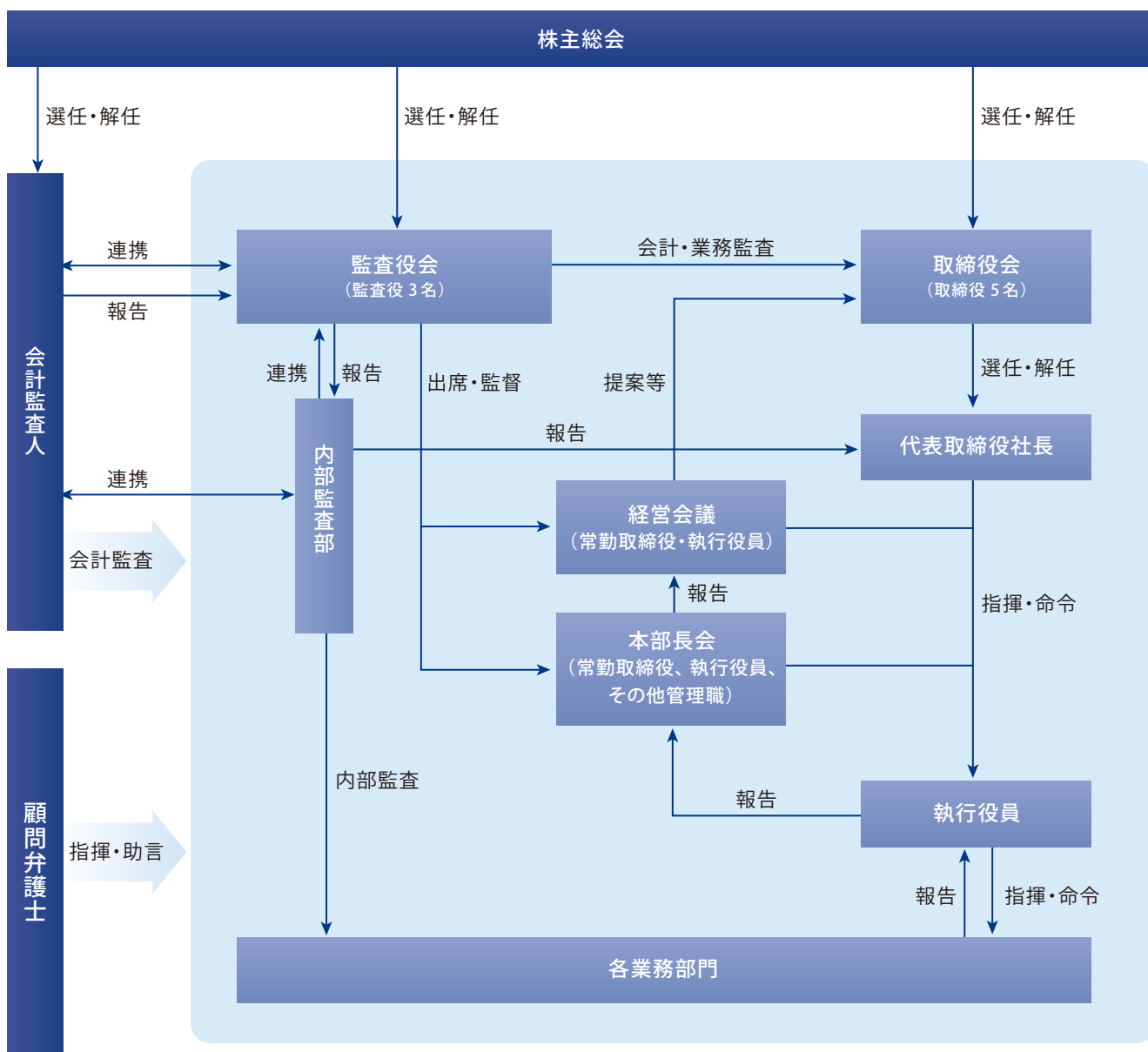
ネクストは、業務執行の適切性及び健全性の確保のため、反社会的勢力との関係を遮断し排除すべく、以下のような取組を行っています。

1. 反社会的勢力対応統括部署の設置
 - (1) 総務グループを反社会的勢力に対する対応統括部署とし、情報の一元管理・蓄積
 - (2) 反社会的勢力の要求に対しては、社内関係部門と連携して、毅然とした姿勢で対応する体制を構築
2. 外部専門機関との連携
 - (1) 社団法人警視庁管内特殊暴力防止対策連合会

に加入し、反社会的勢力に係る情報等の収集に努めるほか、所轄警察署、暴力団追放運動推進センター、顧問弁護士等の外部の専門機関と緊密な連携を保ち、事態に対処する体制を整備

3. 社内研修活動の実施
 - (1) 暴力団追放運動推進都民センターによる不当要求防止責任者講習の受講
 - (2) 全従業員向けに実施されるコンプライアンス講習の中で、不当要求防止に関する講習を実施

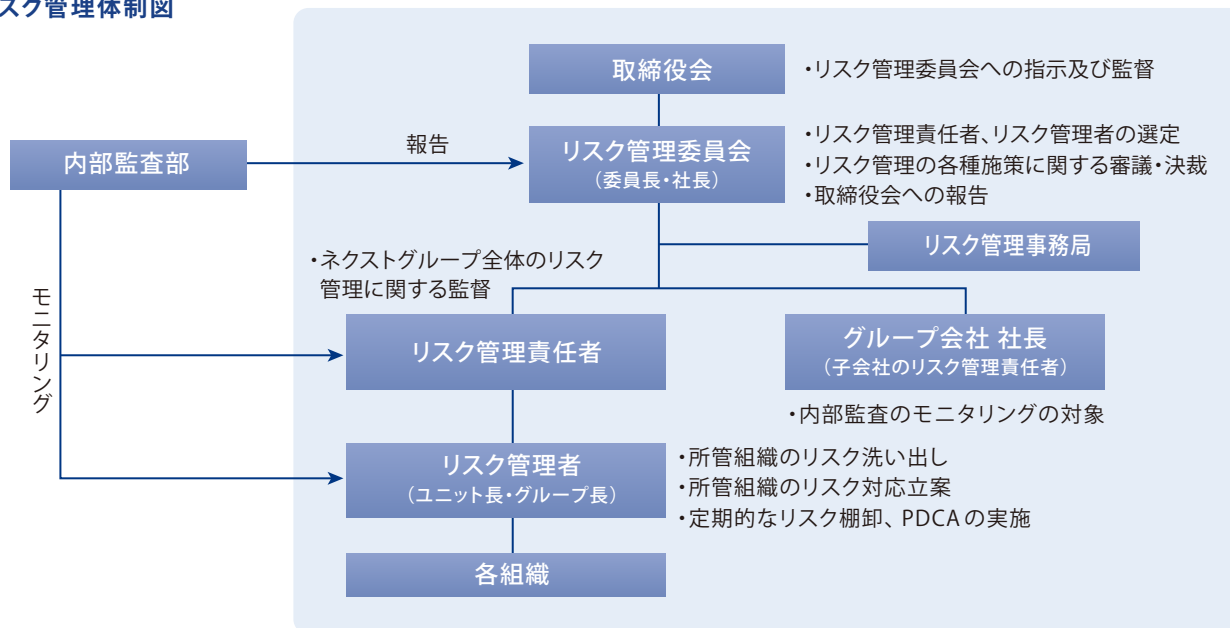
コーポレート・ガバナンス体制図



リスクマネジメント

ネクストは、リスクマネジメントを最適なコーポレートガバナンスを実現する施策の柱に位置づけています。リスクマネジメントの推進体制としては、リスク管理規程に基づいて常勤取締役・監査役を中心に組織されるリスク管理委員会を設置しています。全社事業戦略・事業活動・外部環境等に関わるリスクを一元的に把握するとともに、重要なリスクへの対策と実施、内部監査によるモニタリングと改善のPDCA サイクルを継続的に推進する仕組みを整備しています。リスク対応の具体的取組の一例としては、大規模災害発生時の事業継続計画（BCP）の策定を進めています。

リスク管理体制図



情報セキュリティ

コンシューマー、クライアントに対して常に安心・安全なサービスを提供し続けるため、リスクマネジメントの一環として、情報セキュリティの維持・向上に努めています。2006年には、情報セキュリティに関する国際規格「ISO/IEC27001:2005 / JISIS Q27001:2006」(ISMS)の認証を取得し、現在では全拠点及びグループ会社まで、ISMS 認証取得の範囲を拡大しています。

情報セキュリティに関する取組としては、全社的な情報セキュリティ向上を推進する機関として「機密情報管理委員会」を設置し、情報セキュリティリスクの評価、様々なセキュリティ対策システムの導入、毎月のセキュリティチェック、Webによるテスト等、従業員教育を実施し、セキュリティルールの徹底を図っています。

セキュリティツール

指紋認証付き入室システム

セキュリティ対策として、執務スペースへの入室には静脈認証が必要です。



受付でストラップ着用

来訪者の入室範囲に応じたストラップを着用してもらい、従業員と識別します。



従業員：青ストラップ(青ストラップを忘れた従業員は黄色ストラップ)

来客(執務外)：オレンジストラップ

来客(執務内)：赤ストラップ(事前に承認が必要)

施錠付きロッカーによる貸出PCの管理

貸出用PCは、情報システム部門で施錠管理及び貸出管理を徹底しています。また、貸出用の社外持ち出しPCは、強固なセキュリティを施したPCを使用します。



コンプライアンスの徹底

ネクストでは、コンプライアンスを法令順守はもとより、社会倫理や社内諸規程を順守することと捉えています。コンプライアンスの推進には、法令やルールを一人ひとりが理解することと、守らなければならないという意識を持つことが重要です。そのために、従業員が常に参照できる「コンプライアンスハンドブック」の配布、意識を向上させるための「コンプライアンス研修」を実施し、コンプライアンスの徹底を図っています。

コンプライアンスハンドブックの配布

2010年度は、コンプライアンスの基本的な考え方の理解を目的として、業務を行う上で必須の法令やルールをわかりやすくまとめたコンプライアンスハンドブックを従業員に配布しました。このハンドブックを利用し、コンプライアンスの推進を行っています。また、Webテストを通じて、理解度を確認しています。

コンプライアンスハンドブック



コンプライアンス研修の実施

コンプライアンス意識の浸透を目的に、外部コンサルタントを招き、コンプライアンス研修を実施し、約300人の従業員が出席しました。

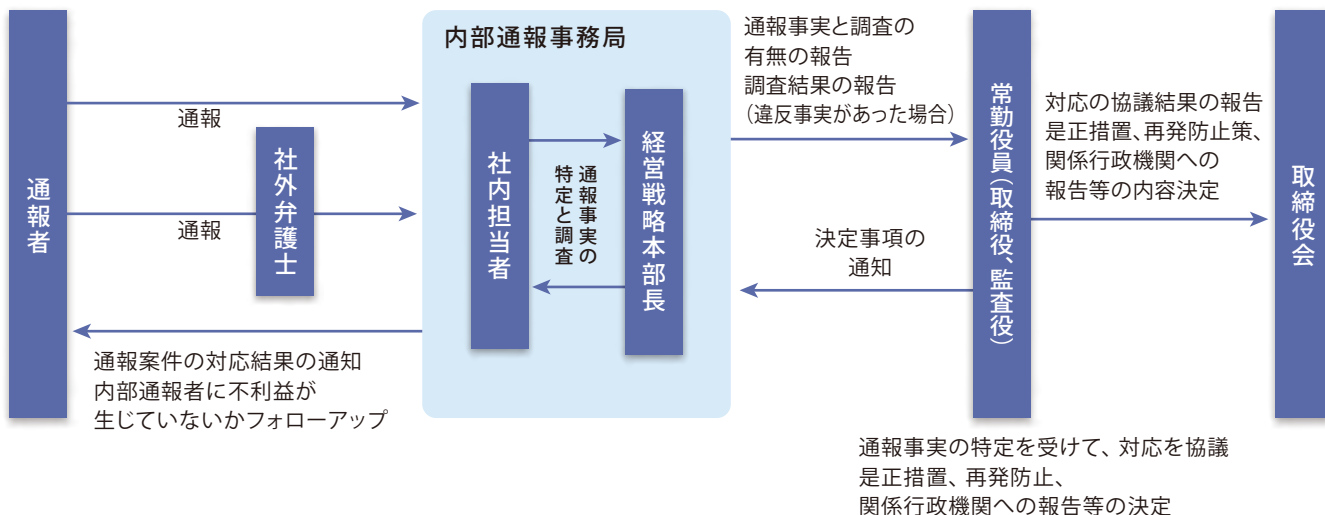
コンプライアンス研修の様子



内部通報制度の運営

ネクストでは、事業活動において、法令に抵触する行為が行われた場合やその疑いがある場合に、社内外に通報できる「内部通報窓口」を設置しています。通報があった際、適切に対処する仕組みや通報者に不利益のないようなフォローアップ体制を整備しています。

内部通報制度フロー図



コンシューマーの皆様とのかかわり

ネクストの主力事業である不動産情報サービス『HOME'S』を通じて、「人と住まいのベストマッチング」を実現することで、住まい情報における「不」の解消を目指しています。理想の住まいを見つけられるように、『HOME'S』の量と質の向上に取り組んでいます。

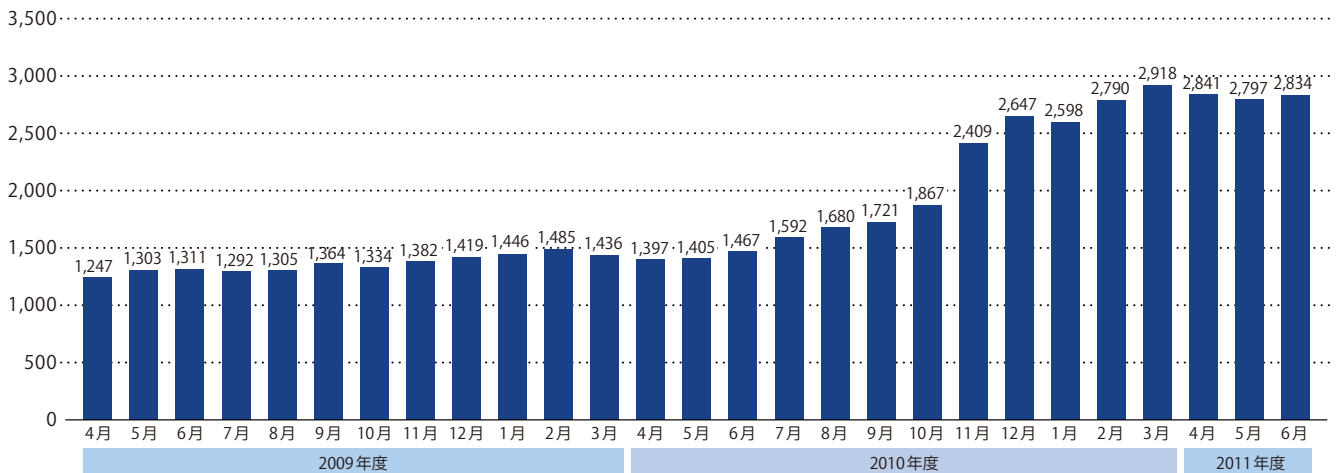
情報の量

『HOME'S』は、「人と住まいのベストマッチング」を実現するため、2010年度に課金形式を変更し、不動産会社が保有するすべての物件情報を制限なく

掲載できるよう、掲載物件数の増加に取り組ましました。2011年3月には一時310万件を超え、同月平均では291万件の物件情報を掲載いたしました。

掲載物件数

(単位:千件)



情報の質

より安心・信頼して『HOME'S』をご利用いただくために、掲載物件情報の審査を専門に行う部署を設け、掲載物件情報の確認並びに物件情報に誤りがあった場合の指導を実施しています。

2010年度は、『HOME'S』に掲載されている物件のうち、109,203物件の確認を行い、品質の高い物件情報の維持・向上に努めてきました。



サービスの量

あらゆるユーザーに、多様なデバイスで様々な住まい情報を提供するため、PC、モバイルのみならず、スマートフォンへの対応も積極的に進め、iPhone^{※1}や

Android^{※2}搭載端末対応のアプリケーションの開発にも注力しました。

※1 iPhoneは、Apple社の商標です。iPhone 商標は、アイホン社のライセンスに基づき使用されています。
※2 Androidは、Google社の商標または登録商標です。

iPhoneアプリ『HOME'S』



Androidアプリ『HOME'S』



PC向け『HOME'S』



モバイル向け『HOME'S』



サービスの質

2010年度は大量の物件から、最適な物件情報を探しやすくするため、重複物件を1つに集約する仕組みを導入しました。また、Webサイトからの検索が

不慣れなため、最適な物件を見つけることができない方向けに電話による相談窓口を設けました。

重複物件を1つに集約して表示



クライアントの皆様とのかかわり

ネクストは、クライアントの皆様を「私たちが実現したい世界を共に創り上げていくための力強いビジネスパートナー」だと考えています。クライアントの皆様は、安心して業務に専念していただけるよう、きめ細かなサポートを行っています。

クライアント満足度調査

『HOME'S』を利用されているクライアントの皆様は、アンケート調査を、毎年実施しています。アンケート内容は、大きく9項目に分かれています。寄せられたご意見を基にサービス改善に努めており、

2010年11月に実施したアンケートでは、総合満足度77.2%という評価を頂きました。満足度100%に向けて、さらなる改善をしていきます。

『HOME'S』カレッジの実施

『HOME'S』を利用されているクライアントの皆様は、インターネットスキル向上をバックアップするために、多様化するインターネットの活用法から、ユーザーとのメール対応法まで、各種の実践的な講座を

開講しています。『HOME'S』のクライアントの皆様のみならず、まだ『HOME'S』を利用されていない不動産会社の皆様にも講座を開放し、不動産業界全体のインターネットスキル向上に力を入れています。

様々な情報の発信

『HOME'S』を利用されているクライアントの皆様は、サービスを安心してご利用いただけるよう、新

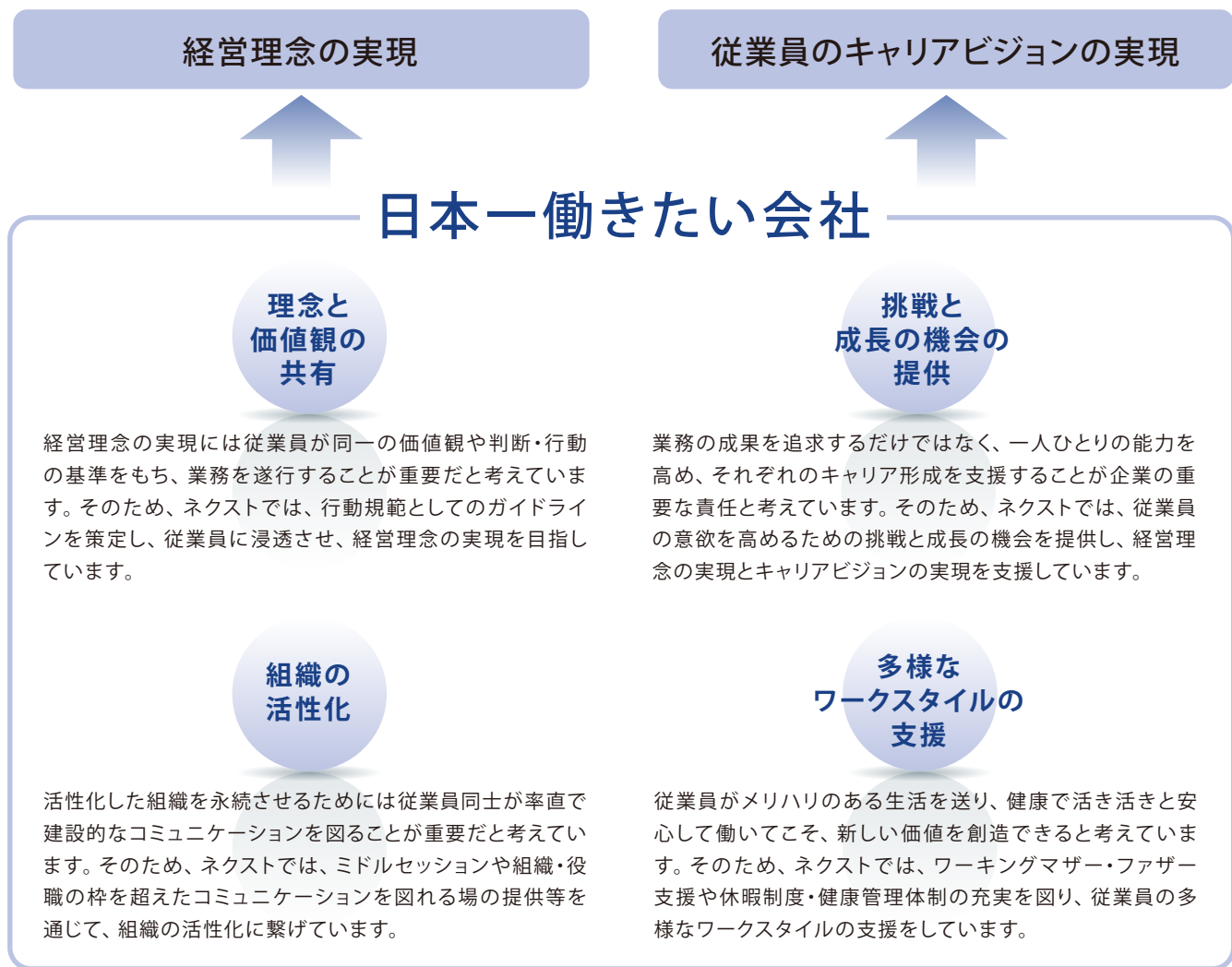
サービスの情報やお役立ち情報等、様々な情報を発信しています。

クライアントの皆様への情報発信

	内容	方法	発行頻度
ネクスト通信	『HOME'S』の新サービス情報等を定期的に配信	メール	月2回
HOME'S ZOOM	『HOME'S』の取組やお役立ち情報を冊子にて配布	会報誌	四半期に1回
HOME'S マーケットレポート	『HOME'S』に掲載されている賃貸物件と売買物件において、掲載物件数、賃料・価格、面積等の平均データをエリア及び間取り別に集計したレポート	コーポレートサイトに掲載	月1回
サポートニュース	サポート、メンテナンス情報を配信	メール	適宜

従業員の皆様とのかかわり

企業の繁栄の礎となるのが、従業員一人ひとりの力です。ネクストでは、「日本一働きたい会社」を目指し、従業員に様々な挑戦の機会を提供し、自発的に成長することで、「経営理念の実現」と「従業員のキャリアビジョンの実現」を両立できる環境を提供しています。「日本一働きたい会社」を実現するために「理念と価値観の共有」、「挑戦と成長の機会の提供」、「組織の活性化」、「多様なワークスタイルの支援」の4つの考え方で、取り組んでいます。



理念と価値観の共有

ネクストでは、大切にしている理念（経営理念）と価値観（社是、ガイドライン）をわかりやすくまとめたビジョンブックや1枚のカードにまとめ従業員が常に携帯しているビジョンカードを配布しています。理念と価値観は、毎年4月の新入社員向けの入社式と2ヶ月に1回実施される中途入社社員向けの入社式で、社長が直接説明し、理解・浸透を深めています。また、毎月、従業員が参加する全社総会を開催し、事業の方向性や目指すべき姿を共有しています。

ビジョンブック



ビジョンカード



従業員の皆様とのかかわり

挑戦と成長の機会の提供

ネクストは、業務の成果を追求するだけでなく、一人ひとりの能力を高め、それぞれのキャリア形成を支援することも企業の重要な責任と考えています。従業員の意欲を高めるための挑戦と成長の機会を提供し、経営理念の実現とキャリアビジョンの実現を支援しています。

ネクスト大学

ネクストでは、従業員一人ひとりの能力開発を目的に、2009年10月にネクスト大学(社内大学)を開校しました。

社長が学長となり、各職種の責任者を学部長に据え、6つの学部を設けています。

学部は、全職種対象の「ビジネス学部」、職種別の「営業学部」、「技術学部」、「制作学部」「プランニング学部」「マーケティング学部」からなり、受講科目は、「必須研修」、「選択研修(ゼミナール)」「選抜研修」の3つで構成されています。

2009年度のゼミナールアンケート評価を基に2010年度はゼミナール数を2倍以上の50ゼミに増やし、すぐに実務に活かせるゼミや今後の海外展開を見据えた、中国語会話・英会話ゼミ等、より多くの従業員

が意欲もって参加できるように多種多様な内容で構成し、社員講師数のべ42名、受講者数のべ584名、ゼミナールアンケート評価平均4.50点となりました。今後も従業員の成長の機会を増やし、キャリアビジョンの実現を支援していきます。

ゼミナールの様子



ネクスト大学のゼミナール概要(2010年度)

ビジネス学部 (全職種共通/階層別)	営業学部・制作学部・技術学部 プランニング学部・マーケティング学部 (職種別)	組織活性・ビジョン共有プログラム
必須	必須	
<ul style="list-style-type: none"> クリティカルシンキング研修 マーケティング研修 コミュニケーションスキル研修 コーチング研修 ファシリテーション研修 戦略立案プログラム ネクストリーダープログラム(管理職研修) 選抜海外研修 	<ul style="list-style-type: none"> 営業力基礎・強化研修 クレーム対応研修 ビジネスメール・文書ゼミ研修 新卒デザイナー研修 ベーシックデザイン研修 マーケティング研修 多変量解析入門研修 開発・デザインスキル研修 PHPプログラミング研修 情報処理を学ぼう研修 ソフトウェアアーキテクチャ研修 インフラアーキテクチャ研修 賃貸・流通・分譲業界ゼミ イラスト基礎ゼミ ベーシックデザイン実践ゼミ～営業資料等作成～ XHTML+CSS基礎講座ゼミ プロジェクトマネジメントゼミ 私の考え方アウトプットゼミ 	<ul style="list-style-type: none"> ビジョンカレッジ 組織別チームビルディング研修
選択		
<ul style="list-style-type: none"> ロジカルシンキングゼミ 伝わるライティング実践ゼミ ソーシャル・ビジネスラボゼミ 会社設立・運営ゼミ 中国語会話・英会話ゼミ キャリアデザインゼミ 		

キャリア支援室

日本一働きたい会社の必要な要素として、「個人が今後のキャリアを描き、見つめ直す機会を提供したい」という考えから、その施策の一つとして、2009年11月より「キャリア支援室」を開設いたしました。キャリアアドバイザーは、社外のカウンセラーだけでなく、社内でもGCDF（外部機関認定のキャリアアドバイザー資格）を取得している社員がカウンセラーとして対応しています。

キャリア選択制度

「キャリア選択制度」とは、従業員一人ひとりのキャリアビジョンを上司と部下が共有し、キャリアビジョンの実現に向けたコミュニケーションをとることで、キャリア形成を支援する制度です。キャリアビジョン実現のために必要なスキルを確認し、不足しているスキルの習得のための働きかけや他部署への異動も含め、現在の業務にとらわれることなく、従業員の自発的なキャリアビジョンの実現を促しています。

社外研修カフェテリアプラン

「カフェテリアプラン」とは、能力開発を目的に、外部研修会社（トーマツイノベーション社）で開催している講座を、社員が受講できるというもので、業務に直接関係しない講座も受講可能で、年間4講座までは業務時間として参加できます。2010年度はのべ108名の社員が受講しました。

資格取得奨励制度

「資格取得奨励制度」とは、2009年4月に開始した資格取得やスキルアップを支援するための制度です。ネクストでは、社員を対象に資格試験に合格、または、ある一定の基準を満たすと、受験料の一部（最大5万円）を会社が負担しています。2010年度はのべ33名が利用しました。

クリエイターの日

「クリエイターの日」とは、クリエイティブ職（技術職、制作職、企画職）の従業員が、応募により承認された特設プロジェクトに参加し、全業務時間の最大20%の時間を研究開発に充てることのできる制度です。この制度は、自発的に成長したい従業員に対して、変化の激しいICT*分野のマーケティング能力や開発能力を高める制度として実施しています。

* Information and Communication Technology の略

新規事業提案制度

「新規事業提案制度」とは、従業員が、個人もしくは複数名でビジネスプランを提案する制度です。一定の基準をクリアしたビジネスプランは取締役や経営企画部のサポートを受けて、より洗練され、最終プレゼン大会で発表します。最優秀賞100万円、優秀賞30万円、入賞10万円が支給されます。2009年度に優秀賞を受賞した「eQOL スキンケア」は、この新規事業提案制度から2011年2月に事業化されました。2010年度は53件の応募のうち、優秀賞1件、入賞2件となりました。

eQOL スキンケア



従業員の皆様とのかかわり

組織の活性化

ネクストは、活性化した組織を永続させるためには従業員同士が率直で建設的なコミュニケーションを図ることが重要だと考えています。そのため、ネクストでは、ミドルセッションや組織・役職の枠を超えたコミュニケーションを図れる場の提供等を通じて、組織の活性化に繋げています。

社員モチベーション調査

ネクストでは、「日本一働きたい会社」の実現を目指し、社員、契約社員を対象に2003年より年1回、社員モチベーション調査を実施しています。調査結果を基に組織が抱える課題を把握し、解決のための施策を実施しています。

ミドルセッション

企業規模拡大に伴い、取締役と中間マネジメント層との対話を目的としたセッションを実施しています。2010年度は、1回あたり3時間のセッションを3回実施し、社長と直接熱い議論を交わしました。

コミュニケーション活性化

ネクストでは、率直で建設的な組織として円滑に業務遂行・連携するため、従業員同士が組織や役職の枠を超え率直で建設的なコミュニケーションを図れる場を設けています。

表彰制度

ネクストでは、様々な表彰制度を実施し、「褒める文化」の醸成や従業員のモチベーション向上、及び業務のノウハウを全社に共有しています。

コミュニケーション活性化

ピザパーティー	全社総会の後に開催される立食パーティー。ピザやお寿司、スイーツ、お酒を片手に業務では直接関わりのない従業員との交流や価値観の共有を目的
バースデーパーティー	月1回、社長がその月に生まれた従業員を食事に招待し、フラットなコミュニケーションを図る
レクリエーション委員会	コミュニケーションの活性化のため、有志で様々なイベントを企画し、キックオフパーティー、社員の家族を招いたオフィスツアーや花火鑑賞会などを実施

表彰制度

トップセールス賞	営業職のモチベーション向上を目的として、各事業部で最も多く売上げを達成した営業職を称える表彰(月間、四半期、年間)
管理部門 MVP 賞	各マネージャーの推薦により、1か月で最も成果を上げた個人(MVP)、チーム(MVT)、ガイドラインを体現した個人(MVG)を称える表彰
社長賞	従業員を対象に「会社に貢献した」と社長の心に響く仕事をした従業員を称える表彰
クリエイティブアワード	クリエイターのモチベーション向上と、発表を通じて情報を全社に共有することを目的として、企画、制作、技術の3部門で年2回実施。先進性、費用対効果、難易度等により審査をし、表彰
ガイドライン大賞	ネクストが定めるガイドラインを最も体現している人を称える表彰。グループ全社員を対象とし、年1回ネクストが定める各ガイドラインに対して1名ずつ、計8名選出し、全社総会で表彰

従業員の皆様とのかかわり

多様なワークスタイルの支援

近年、長時間労働によって健康に支障をきたすことや、プライベートの時間を作ることができず、職場で強い不安やストレスを感じる人々が増加し、大きな社会問題となっています。ネクストでは、従業員が生き活きと働ける職場づくりに向けて、力を注いでいます。

イベント休暇

プライベートなイベントの日(結婚記念日、子どもの運動会等)に取得できる有給の特別休暇です。社員を対象とし、年次有給休暇とは別に年2日まで取得することができます。

2010年度は70.1%が取得しました。

リフレッシュ手当

勤続およそ2年の社員を対象に、年次有給休暇を連続4日以上取得することで3万円支給されます。社員がリフレッシュしてもらうために長期休暇を取得し、休暇をより楽しんでもらうための制度です。

ノー残業デー

効率的に働き、仕事とプライベートの両立を図るため、毎週水曜日は残業をせずに退社することを奨励するノー残業デーを設けています。

ワーキングマザー・ファザー支援

子育てをしながら働く社員を支援する制度です。この制度は、実際に子育てをしている社員からの提案により制度化されました。

健康管理体制

従業員一人ひとりが健康を保ち、効率よく仕事ができるように電話・対面カウンセリングがいつでも受診できる等、心身両面からの健康管理をサポートする体制を築いております。

主なワーキングマザー・ファザー支援

母性健康管理のための休暇	妊娠中や産後1年を経過していない女性社員が健康診断や保健指導を受けるための休暇	産前の場合 ①妊娠23週まで(4週に1回) ②妊娠24週から35週まで(2週に1回) ③妊娠36週から出産まで(1週に1回) 産後の場合 医師または助産師が指示する回数
出産休暇	妻の出産や出産直後のサポートのために夫が取得可能な休暇	3日間取得可能
短時間勤務	子どもが小学校卒業まで働く時間を短縮できる制度	6時間勤務 9～16時/10～17時 7時間勤務 9～17時/10～18時
看護休暇	子どもが病気等になり、看護が必要な場合に使用できる休暇	小学校就学前まで 15日/年 小学校1年～小学校2年まで 5日/年 (年間5日までは有給となる)

健康管理体制

健康診断	年1回、社員・契約社員を対象に実施しています。30歳以上の社員・契約社員には人間ドック並みの健康診断を実施しています。また、30歳以上の女性従業員や扶養家族(女性で希望者のみ)には婦人科検診を実施
インフルエンザ予防接種	年1回、社員・契約社員を対象に実施
メンタルヘルスケア・顧問医面談	社員・契約社員を対象に電話・対面カウンセリングがいつでも受診できます。また、2011年4月より、社員を対象に時間外労働80時間超者に対する顧問医面談の実施を開始
衛生委員会	過重労働、健康リスクや食生活等、毎月テーマを設けて、従業員の健康管理に関わるコラムの配信や従業員の健康管理を推進

株主・投資家の皆様とのかかわり

株主の皆様とのコミュニケーション

ネクストは、株主の皆様はネクストの現状を正しく理解し、安心して株式を保有していただくために、適時・適切な情報開示や利益還元に努めています。

株主総会

2010年度の株主総会は、時事通信ホール(東京都中央区)で開催し、34名の株主の皆様にご出席いただきました。総会終了後には、ネクストの事業や戦略について、より理解を深めていただくために「事業戦略説明会」を実施しました。また、東日本大震災の影響を鑑み、Webサイトでの株主総会招集通知の早期開示をネクストとして初めて実施しました。

株主通信

年1回発行している「株主通信」では、決算概要、事業戦略等を報告するだけでなく、社内の雰囲気や伝わる特集ページを設けています。特集ページでは、従業員の「顔」と「声」を掲載し、会社・事業への理解をより深められる内容にしています。また、アンケートを通じて寄せられたご意見を基にIR活動のさらなる改善に努めています。

株主通信



配当

連結配当性向10%を目安とし、当期純利益に応じた配当を実施しています。2010年度の配当金額は、1株当たり590円としました。2011年度の配当については、財務基盤が安定してきたことを受けて、より一層の株主の皆様への利益還元を努め、連結配当性向を15%とする予定です。

投資家の皆様とのコミュニケーション

ネクストは、各種法令や規則に則り適時・適切に情報を開示するだけでなく、事業活動の透明性を高め、投資家の皆様は投資判断に役立つと思われる情報についても、積極的に開示しています。

機関投資家の皆様に向けて

四半期毎に機関投資家の皆様向けに決算説明会を開催し、社長自ら事業展開や業績動向等を説明しています。加えて、電話会議や個別面談等を通じて、直接投資家の皆様とのコミュニケーションを図っています。2010年度は国内外で、のべ131回投資家の皆様と面談しました。

また、安心して投資判断ができる情報の提供を目的に、毎月20日に主力事業である不動産情報サービスの重要指標の推移を開示しています。

他にも、コーポレートサイトに海外の投資家向けに年2回、英訳した決算説明会資料を掲載しています。

機関投資家説明会の様子



個人投資家の皆様に向けて

より多くの個人投資家の皆様にネクストを知ってもらうため、毎年会社説明会を開催しています。2010年度は、株主の皆様からのアンケートを基に東京のみならず、名古屋・大阪・福岡で、のべ5回開催しました。コーポレートサイトにおいては、ネクストの理解を促すコンテンツ「ネクストってどんな会社?」、ネクストの専門用語を集めたコンテンツ「用語集」、皆様から寄せられた質問をまとめたコンテンツ「よくあるご質問」の提供を開始しました。また、モバイル向けのサイトも開設しました。

ネクストってどんな会社?



用語集



よくあるご質問

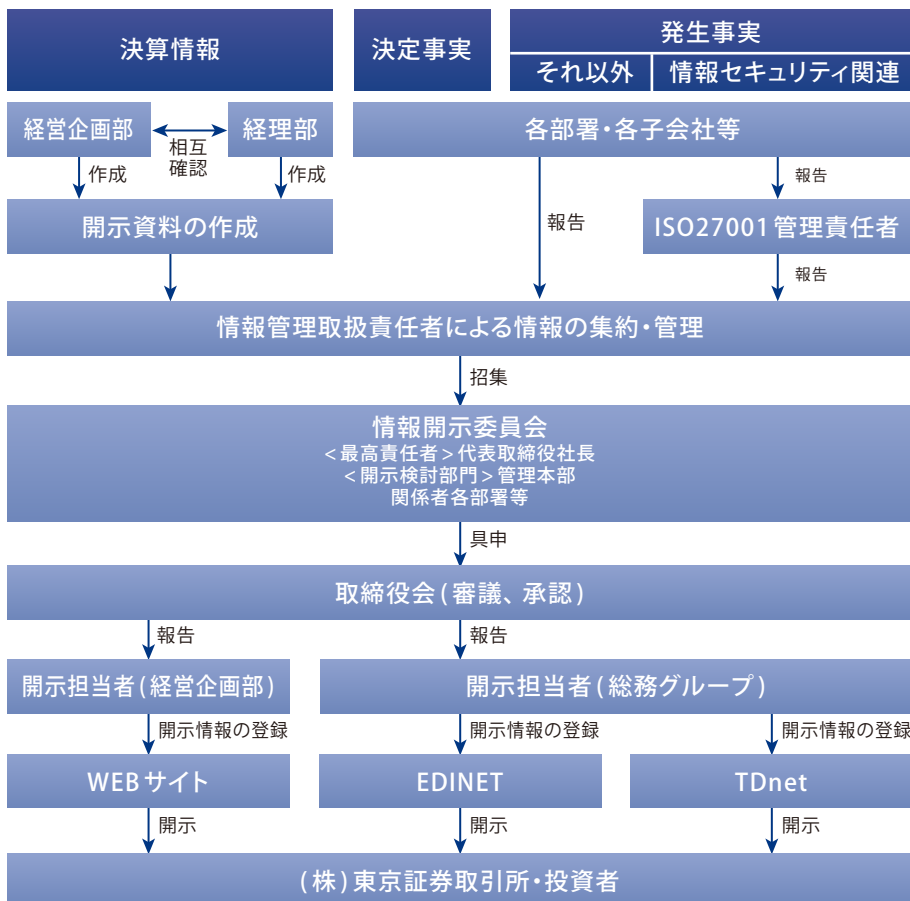


株主・投資家の皆様への情報開示

会社情報の適時開示にかかわる業務は、管理本部の担当役員が「情報取扱責任者」となり、「適時開示規則」に基づき、体制を構築し、実施しています。

重要な事象が発生した場合、その情報は「情報取扱責任者」へ報告・集約され、社長を最高責任者とする情報開示委員会にて確認・判断された後、取締役会の審議を経て、情報開示担当者が東京証券取引所のTDnet、金融庁のEDINET、及びコーポレートサイトを通じて、外部に公表しています。

適時開示手続きフロー図



社会の皆様とのかかわり

ネクストは、社是に掲げる「利他主義」に基づき、社会の一員として、社会貢献活動に取り組んでいます。

東日本大震災支援活動

ネクストは、東日本大震災の被災者向けに優遇不動産物件の情報提供、マッチングギフト付きポイント寄付、義援金の寄付等、様々な支援活動を行っています。

被災者向けに優遇物件の情報を提供

『HOME'S』において、被災者の方向けに、敷金・礼金無料、仲介手数料不要等の優遇条件を設定した物件情報を無料で掲載できる「住まい探し支援特集」を開設し、全国の不動産会社から集まった物件情報を提供しています。また、「Lococom」において、仮住まいをお探しの被災者向けに『「仮住まい」情報掲示板』を開設し、被災者を支援したいと考える個人オーナーの皆様からの物件情報を提供しています。

マッチングギフト付きポイント寄付

「Lococom」において、Lococom会員を対象に「ロココポイント」による寄付を受付け、寄付されたポイントと同額をネクストが加算して、被災地の支援活動を行っている公益社団法人 Civic Force に900,000円を寄付しました。

その他の取組

従業員の自発的な取組により、社内に募金箱を設置し、募金活動を行いました。ネクストグループ全体で188,379円集まり、公益社団法人 CivicForce に寄付しました。また、東日本大震災以降節電対策を実施し、可能な限り執務・来客スペース内の電力の使用を抑制しています。

住まい探し支援特集



「仮住まい」情報掲示板



Lococom 災害救援金募集



その他の社会貢献活動

エコキャップ、使用済み切手の収集

2008年より、従業員の提案から本社、大阪支店で「エコキャップ運動」を実施しています。「エコキャップ運動」は、飲み終えたペットボトルのキャップを回収し、リサイクルすることで発生した利益を発展途上国の子どもたちのポリオワクチンに換えて提供する活動です。

2010年度は、ポリオワクチン約46人分のキャップ(36,480個)を寄付いたしました。

また、古切手を回収し、発展途上国の女性が健康な状態で出産できる環境をつくる財団法人ジョイセフに送付しました。

回収済みペットボトルキャップ



自動販売機を利用した「ベナン支援」

2011年1月の本社移転を機に自動販売機を一新し、本社内に設置した自動販売機の収益の一部を、NPO法人IFEに寄付し、ベナン共和国の小学校を支援をしています。

2010年度は、62,778円を寄付しました。

収益の一部を寄付している自動販売機



古着寄付

NGOわかちあいプロジェクトが実施する、タイのミャンマー難民キャンプに古着を送付する活動へ協力しています。

2010年度は、段ボール4箱分の古着を届けました。

寄付した古着



スポンサー活動

ネクストでは、事業活動と共に文化スポーツ協賛活動にも取り組んでいます。2007年に、旧神戸ウイングスタジアムの命名権を取得し、「HOME'S STADIUM KOBE (ホームズスタジアム神戸)」としました。同時に同スタジアムを本拠地とする、サッカーJリーグディビジョン1に所属する「ヴィッセル神戸」のオフィシャルスポンサーとして協賛し、毎年「住まい探しはHOME'Sデー」と称するイベントを開催しています。

2010年度は、サッカースクールや、小学生を対象にJリーグの試合運営の裏側から仕事を体験できる「まるっとホームズ」、憧れの選手とピッチに入場できる「エスコートキッズ」等、ヴィッセル神戸ファンとのコミュニケーションの場を提供しました。

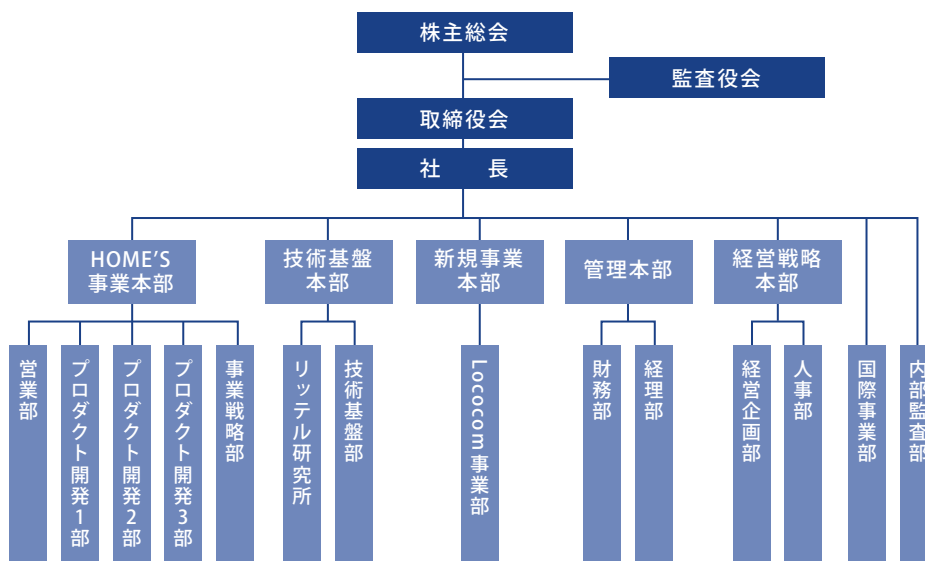
「住まい探しはHOME'Sデー」エスコートキッズ



会社概要 (2011年3月31日現在)

組織名称	株式会社ネクスト 英文: NEXT Co.,Ltd.
設立	1997年3月12日
資本金	1,992百万円
代表者	代表取締役社長 井上 高志
従業員数	597人(グループ連結、臨時雇用者76名含む)
株主数	3,734人
発行済み株式数	187,650株(内、自己名義株式120株)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
事業内容	不動産情報サービス, 地域情報サービス, その他
本社所在地	東京都港区港南2-3-13 品川フロントビル TEL(03)5783-3600 FAX(03)5783-3737
連結対象会社	株式会社レントーズ 株式会社リッテル* <small>* 2011年4月1日をもって吸収合併いたしました。</small>

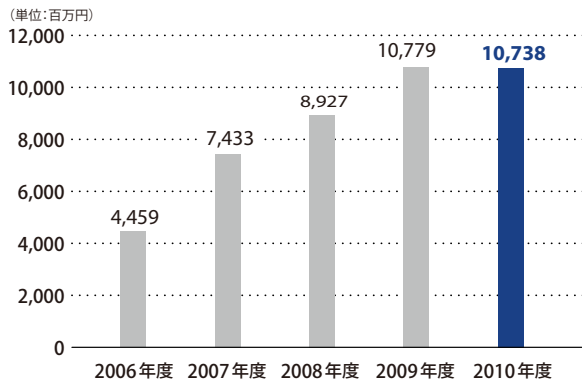
組織図 (2011年4月1日付)



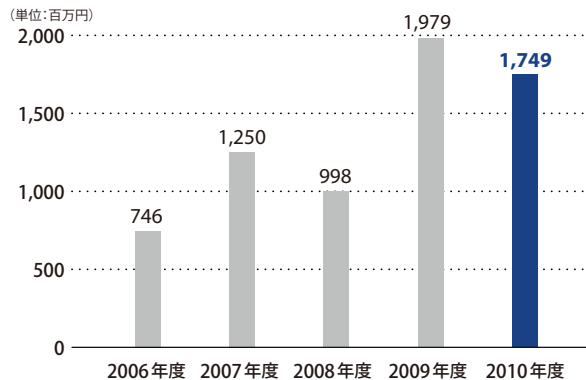
(注) 部以上を記載しています

連結業績

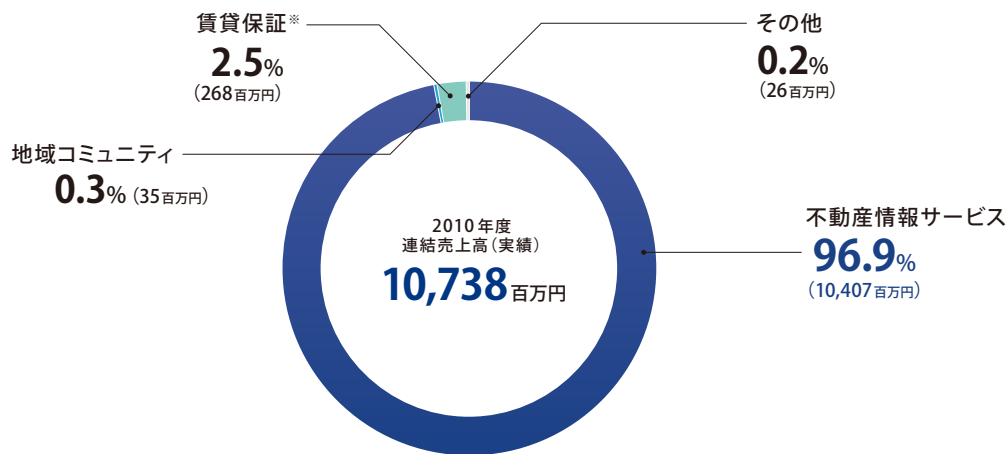
売上高



営業利益



セグメント別売上高



*2010年8月2日に賃貸保証事業より撤退

2010年度活動データ

		2009年度	2010年度
CSR マネジメント	情報セキュリティ Webテスト受験率	-	93.3%
	コンプライアンス Webテスト受験率	-	100%
ステーク ホルダーへの 取組	クライアント		
	HOME'S 総合満足度	80.0%	77.6%
	ネクスト大学		
	開催ゼミナール数	24	50
	従業員ゼミナール講師数(人)	23	42
	ゼミナール受講者数(人)	254	584
	ゼミナールアンケート評価(ポイント)	4.41	4.50
	従業員		
	カフェテリアプラン参加者数(人)	297	108
	新規事業提案数(件)	76	53
	母性健康管理のための休暇取得人数(人)	6	8
	取得日数(日)	20	30
	看護休暇取得人数(人)	26	27
取得日数(日)	88	86	
イベント休暇取得率	76.5%	70.1%	
株主・投資家			
株主総会 参加株主数(人)	37	34	
機関投資家 個別面談回数(回)	126	131	
社会			
エコキャップ回収個数	19,888	36,480	
(ポリオワクチン人数)	25	45.6	
自販機からの寄付金(円)	-	62,778	
古着寄付(箱)	-	4	
東日本大震災支援			
Lococom ポイント寄付(ポイント)		900,000	
社内募金箱設置(円)		188,379	



NEXT Co., Ltd.
— Enter the NEXT stage —

本報告書についてのお問い合わせ先

株式会社ネクスト

経営戦略本部 経営企画部
コーポレートコミュニケーショングループ

〒108-0075

東京都港区港南2-3-13 品川フロントビル

電話 03-5783-3604 FAX 03-5783-3737